

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第2区分

【発行日】平成24年8月30日(2012.8.30)

【公開番号】特開2012-135782(P2012-135782A)

【公開日】平成24年7月19日(2012.7.19)

【年通号数】公開・登録公報2012-028

【出願番号】特願2010-288671(P2010-288671)

【国際特許分類】

B 2 3 K 26/00 (2006.01)

G 0 2 B 5/30 (2006.01)

B 2 3 K 26/38 (2006.01)

【F I】

B 2 3 K 26/00 N

G 0 2 B 5/30

B 2 3 K 26/00 M

B 2 3 K 26/38 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成24年7月6日(2012.7.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

フィルムを切断するために当該フィルムにレーザー光を照射するレーザー光照射装置であって、

レーザー光を発振するレーザー光発振機と、

レーザー光発振機から発振されたレーザー光を二つに分岐し、分岐させたレーザー光のうちの、一方のレーザー光をフィルムに照射するビームスプリッターと、

分岐されたレーザー光のうちの、他方のレーザー光の強度を測定する測定装置と、

測定された強度から上記レーザー光発振機の出力値を算出し、設定値に対する上記出力値の大小を判断して、上記レーザー光発振機の出力値を設定値に近づけるようにF T S (full time stabilizer)システムを採用してフルタイム補正する補正装置と、

を備えていることを特徴とするレーザー光照射装置。

【請求項2】

フィルムを切断するために当該フィルムにレーザー光を照射するレーザー光照射方法であって、

レーザー光発振機から発振されたレーザー光を二つに分岐させ、分岐させたレーザー光のうちの、一方のレーザー光をフィルムに照射すると共に、他方のレーザー光の強度を測定し、

測定した強度から上記レーザー光発振機の出力値を算出し、設定値に対する上記出力値の大小を判断して、上記レーザー光発振機の出力値を設定値に近づけるようにF T S (full time stabilizer)システムを採用してフルタイム補正することを特徴とするレーザー光照射方法。

【請求項3】

上記測定装置は、分岐されたレーザー光のうちの、透過光の強度を測定するようになっていることを特徴とする請求項1に記載のレーザー光照射装置。

**【請求項 4】**

上記測定装置がパワーセンサーであることを特徴とする請求項 1 または 3 に記載のレーザー光照射装置。

**【請求項 5】**

上記レーザー光発振機が CO<sub>2</sub> レーザー光発振機であることを特徴とする請求項 1 , 3 または 4 に記載のレーザー光照射装置。